

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号788

発生場所	外来診察室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所（その他） -		無	
関連したもの	機器	発生内容の分類	D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
		衝突・接触、治療・処置、医療機器等	

発生内容

診察介助のために内診台を昇降させた際に、患者のベビーカーを破損した事例

概要

診察介助のため助産師が内診台を上昇させた際、患者が持参したベビーカー（乗っていない状態）に背もたれの部分が接触し破損した。

要因

ベビーカーはカーテンの外側に配置し、接触する距離ではないと判断していたが、ぶつかってしまった。子供の手足が挟まれないようにという注意喚起はしていたが、ベビーカーまで注意が及ばなかった。診察室は、広さに余裕がない。

対策

患者を診察に案内する際、内診台の作動範囲を十分に意識して、ベビーカーやその他の持参物、診察室の配置物（荷物置きなど）の配置をする。また、ベビーカーだけでなく、小さな子供が一緒に診察も少なくないことから、慣れている患者であっても十分な配慮と説明を心掛ける。

参照